

2023年度 日本工学院専門学校											
ダンスパフォーマンス科											
ミュージックジョブ 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	15	単位	1
担当教員	野中志乃			実務 経験	有	職種	ダンススタジオマネージメント				
担当教員紹介											
ダンススタジオにて店舗運営管理・ダンサー育成業務・キャストینگ業務等幅広く実務を経験。マットピラティス指導者資格、コンディショニング コーチ認定などダンサーのセカンドキャリアに役立つ資格を有する。											
授業概要											
この科目では、音楽・ダンス業界の現状を学ぶ事で、プロダンサーとして活動する上で求められる人物像、人間性、スキルはどういったものかを考 えていく。また、ダンスが付随したイベントや事業形態、企画等を自ら発想する事でビジネスとしてダンスを捉えられるようにしていく。											
到達目標											
この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージするこ と、10年・20年先の音楽業界で生きて行く為に必要な力は何かを自ら思考できるようになることを目標にしている。											
授業方法											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えてい くかを意識しながら、授業を進める。またその作業を通して、考える力・発信する力・傾聴する力を身に付け、学生自身の人間力を高めていく。											
成績評価方法											
試験・課題	60%	試験と課題を総合的に評価する									
成果発表	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。 理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、自分でも情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。 ただし、授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。オンデマンド授業講義を受講し課題を必ず提出する事。											
教科書教材											
必要に応じてレジュメ・資料を配布する											
回数	授業計画										
第1回	導入オリエンテーション/授業概要・評価方法の理解、自己分析シートの提出										
第2回	業界研究ワーク①/将来志望する職業について他者と意見交換をし客観的な理解を深める										
第3回	業界研究ワーク②/各業界で働くメリット・デメリットを理解する。グループワークで課題解決を話し合う										
第4回	業界研究ワーク③/業界研究①②の内容を各班にて発表する										
第5回	ダンサーの職業①/バックダンサー、振付師について学ぶ										

2022年度 日本工学院専門学校	
ダンスパフォーマンス科	
ミュージックジョブ 1	
第6回	ダンサーの職業②/テーマパーク、チアダンサーについて学ぶ
第7回	ダンサーの職業③/インストラクターについて学ぶ
第8回	ダンススタジオについて/ダンススタジオで働く、またはスタジオから求められる人材について学ぶ
第9回	ダンスイベントについて/スタジオとイベントの関係性について学ぶ
第10回	フリーランスで働く事について①/フリーランスで働くメリット・デメリットを理解する
第11回	フリーランスで働く事について②/フリーランスでの働き方についてグループワークで課題解決について話し合う
第12回	フリーランスで働く事について③/自分が卒業後にどのように働いていきたいかをワークにてまとめ、提出する
第13回	ダンサーキャスティング①/ダンサーキャスティング会社の紹介、業務内容について理解する
第14回	ダンサーキャスティング②/仕事の流れ、報酬を得るまでの流れを理解する
第15回	自己表現の研究/自己プロモーションのための写真、動画、自分の見せ方を客観的に考える